

1. 鋼構造分科会の組織および活動概要

1. 1 鋼構造分科会の組織

鋼構造分科会委員は阪神・淡路大震災の約1ヶ月後に、土木学会関西支部からの調査研究委員会への参加の呼びかけに応募された方々と、被災した鋼道路橋の調査と復旧に参加された鉄鋼・鉄構・橋梁会社の技術者とで構成した。本分科会では鋼道路橋を対象として、地震被害の調査、復旧工事の記録、被害の原因究明およびそれらを踏まえた耐震設計法への提言を行なうことを目的とした。そこで分科会に被害・健全度評価、補強対策、損傷評価、原因究明および耐震設計の5つのワーキンググループを組織した。

委員と所属ワーキンググループ（WG）は以下の通りである。

福本 喙士	分科会委員長	福山大学	
池田 秀夫	委員	日本橋梁（株）	損傷評価 WG 幹事
川岡 靖司	委員	日本橋梁（株）	損傷評価 WG 幹事
伊津野 和行	委員	立命館大学	耐震設計 WG 幹事、原因究明 WG
井元 泉	委員	石川島播磨重工業（株）	被害・健全度評価 WG 主査
岩倉 隆	委員	川崎製鉄（株）	被害・健全度評価 WG
宇井 崇	委員	片山ストラテック（株）	損傷評価 WG, 耐震設計 WG
浦部 匡司	委員	関西ペイント（株）	被害・健全度評価 WG
大南 亮一	委員	川崎重工業（株）	原因究明 WG 幹事
岡崎 悦治	委員	三井造船（株）	補強対策 WG
岡本 安弘	委員	（株）神戸製鋼所	補強対策 WG
尾下 里治	委員	（株）横河ブリッジ	耐震設計 WG
吉田 昭仁	委員	（株）横河ブリッジ	耐震設計 WG
亀井 正雄	委員	三星産業（株）	被害・健全度評価 WG
北田 俊行	委員・分科会幹事	大阪市立大学	耐震設計 WG 主査、原因究明 WG
木邑 正	委員	新日本製鐵（株）	被害・健全度評価 WG
坂田 豊	委員	新日本製鐵（株）	被害・健全度評価 WG
串田 守可	委員	（株）栗本鉄工所	被害・健全度評価 WG、補強対策 WG
久保 元生	委員	（株）春本鉄工所	補強対策 WG
小泉 正司	委員	川田工業（株）	補強対策 WG
坂野 昌弘	委員	関西大学	原因究明 WG
佐合 大	委員	高田機工（株）	被害・健全度評価 WG
迫田 治行	委員	川崎重工業（株）	補強対策 WG 主査, 原因究明 WG
庄野 泉	委員	（株）酒井鉄工所	被害・健全度評価 WG
杉浦 邦征	委員	京都大学	耐震設計 WG
頭井 洋	委員	摂南大学	原因究明 WG
武内 隆文	委員	住友重機械工業（株）	被害・健全度評価 WG、損傷評価 WG
山平 喜一郎	委員	住友重機械工業（株）	損傷評価 WG
谷平 勉	委員	近畿大学	補強対策 WG、耐震設計 WG
中井 博	分科会副委員長	大阪市立大学	原因究明 WG 主査
中垣 亮二	委員	日立造船（株）	補強対策 WG
猪原 茂	委員	日立造船（株）	補強対策 WG
中村 公信	委員	日本鋼管（株）	原因究明 WG
西村 宣男	委員・科会幹事	大阪大学	損傷評価 WG 主査、原因究明 WG
広瀬 全弘	委員	日本電子計算（株）	被害・健全度評価 WG
細見 雅生	委員	駒井鉄工（株）	損傷評価 WG

秋山寿行	委員	駒井鉄工（株）	損傷評価 WG
村瀬良秀	委員	三菱重工業（株）	耐震設計 WG
森重行雄	委員	日本鑄造（株）	耐震設計 WG
山本隆夫	委員	（株）CRC 総合研究所	損傷評価 WG
津田 徹	委員	（株）CRC 総合研究所	損傷評価 WG
由佐禎男	委員	松尾橋梁（株）	補強対策 WG
渡邊英一	委員・分科会幹事	京都大学	

1. 2 分科会活動

鋼構造分科会は、委員会設置期間 3 ヶ年の間に 14 回開催し、主として委員会幹事会での調査研究成果の取り纏めに関する方針の説明、分科会独自で行なった調査研究資料に関する討議、他機関・組織による鋼構造被害の調査活動に関する情報交換などを行なった。

分科会の開催状況は以下の通りである。

第 1 回鋼構造分科会	平成 7 年 4 月 28 日	大阪大学
第 2 回鋼構造分科会	平成 7 年 6 月 22 日	市大文化交流センター
第 3 回鋼構造分科会	平成 7 年 8 月 8 日	市大文化交流センター
第 4 回鋼構造分科会	平成 7 年 10 月 11 日	川崎重工業大阪支社
第 5 回鋼構造分科会	平成 7 年 12 月 13 日	大阪大学
第 6 回鋼構造分科会	平成 8 年 3 月 6 日	川崎重工業大阪支社
第 7 回鋼構造分科会	平成 8 年 5 月 21 日	市大文化交流センター
第 8 回鋼構造分科会	平成 8 年 7 月 26 日	市大文化交流センター
第 9 回鋼構造分科会	平成 8 年 10 月 14 日	川崎重工業大阪支社
第 10 回鋼構造分科会	平成 8 年 12 月 16 日	市大文化交流センター
第 11 回鋼構造分科会	平成 9 年 3 月 17 日	市大文化交流センター
第 12 回鋼構造分科会	平成 9 年 5 月 26 日	市大文化交流センター
第 13 回鋼構造分科会	平成 9 年 9 月 5 日	市大文化交流センター
第 14 回鋼構造分科会	平成 9 年 12 月 22 日	阪神高速道路公団藤白荘

上記の分科会の間に、前述の 5 つのワーキンググループは 1 回ないしは 2 回の会合を持ち、実質的な調査研究活動を行なった。特に、被害・健全度評価 WG および補強対策 WG の委員は、震災直後から現地で被害調査、応急復旧および本復旧に従事しながら、平成 8 年 9 月 5 日に開催された委員会の中間発表会において中心的に活動した。図-1.1.1 に示すように、被害・健全度評価 WG および補強対策 WG によって収集された被害データおよび復旧工事の資料は、都市高架橋の地震損傷を対象とした損傷評価 WG および長大橋・特殊橋梁の被害を対象とした原因究明 WG の基礎資料となった。また、損傷評価 WG と原因究明 WG の研究成果は耐震設計法 WG における取り纏めに対して有効な資料として活用された。

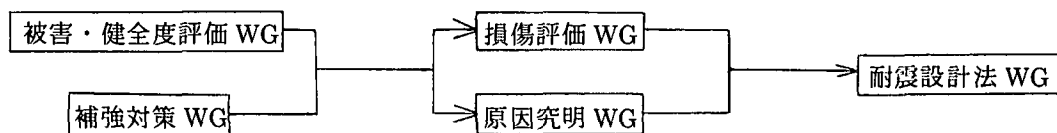


図-1.1.1 鋼構造分科会における調査研究の流れ